



東陽の旋風 ^か ^ぜ ～自律協働貢献～

令和7年2月21日（金）No 42 発行
文責：松本 卓也

なぜ学ぶのか ～人生をより面白く生きるため～

19日（水）から21日（金）まで1・2年学年末考査を行いました。toyo ノート（生活ノート）には、

「テスト勉強したところが出てきて、解けたのでよかったです。（1年 Yさん）」
 「今日は4時間も勉強ができたので、よかったです。（1年 Mさん）」
 「今日の数学のテストで、ずっと悩んでいたところを聞いたらわかったのでよかったです。（1年 Sさん）」
 「解けない問題があったので、しっかり勉強しようと思いました。（2年 Yさん）」
 「保健体育がすごく解けました。明日も頑張ります。（2年 Uさん）」
 「今日の3教科はあんまり自信がないので、明日は頑張りたいです。（2年 Iさん）」



等と書いてあり、現学年最後のテストに向けて意欲的に取り組んでいる様子が伺えました。58歳でライフネット生命保険株式会社を創業、70歳で立命館アジア太平洋大学学長（現学長 特命補佐）に就任した出口治明氏は、著書「なぜ学ぶのか【小学館 YouthBooks】」の中で、

- ・長期的な視座に立って、何が本質なのか自分の頭で考えて、常識を疑ってみることが、これからの時代を生きていくためにいっそう大事な力になってきます。
- ・リベラルアーツ（人文科学・自然科学・社会科学）を学び、自分の頭で考えることで、人の言うなりに使われるのではなく自由に生きていくことができる。「人は学ぶことで自由になれる」のです。
- ・人が学ぶのは、学校で良い成績をとるためでもなければ、偏差値の高い学校に行くためでもありません。学ぶことは、自分の人生の選択肢を増やすことです。その結果、人生をより自由に生きられるようになります。そのために僕たちは学び続けるのです。
- ・なぜ学ぶのか。そう聞かれたら、僕は「人生をより面白く生きるためです」とこたえます。

と述べています。いま勉強の意義や面白さを見いだせなかったり、いやいやながら勉強したりしている人もいるかもしれません。しかし、自分の人生を自由に面白く生きていくためには、自分の頭で「考える」ことが必要です。時間は有限です。現状を嘆くのではなく、挑戦し続けてほしいと思います。Fight！1・2年生！！



自分の生き方を真剣に考える

14日（金）、立志式を行いました。幼い頃の写真を背に、「人と関わって、人の役に立てるような大人になりたい」「何事にも一生懸命に取り組める大人になりたい」等、未来の自分の決意と、「私の話をいっぱい聞いてくれてありがとう」「頑張ったね」と言われると、また頑張ろうと思えます等、これまで支えてくださった家族への感謝の思いを述べました。勇気を出して言葉にする生徒、仲間思いをしっかりと受け止める生徒、見守る保護者の方々・・・つながり合う温かな雰囲気に教室が包まれました。



“共育”を目指して Part3

14日（金）、「第2回PTA定期総会」を開催しました。総会では、「令和6年度事業報告」、「令和7年度PTA本部役員」の承認後、八代市PTA連絡協議会への加盟について、全家庭の意思を伺う提案がH会長からなされました。今後の東陽中PTAの在り方をお考えいただき、意思表示をお願いいたします。学校では加盟の有無に関わらず、これまで通り、ご家庭と同じ方向を向き、「共に子どもを育てていく（共育）」視点を大事にして教育活動を進めていきます。保護者の皆様まのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）